

□ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

読者の皆さんは、CMを、毎日いたるところで目にしていて、① 外と知られていないのが、僕のやっているCMプランナーの仕事ではないかと思うので、そこからまず説明を始めます。

広告業界の仕事は、カタカナで表されることが多い。だから「CMプランナー」という言葉も耳にしたことはあるのではないかと思います。その一方で「なんとなくはわかるけど、でも実際は何をやっているの？」と感じているのではないのでしょうか。

CMプランナーの仕事を一口でいうならば、テレビやラジオコマーシャルや※ウェブ上の動画の、もともとのアイデアを考える仕事です。代表的なわかりやすい仕事は、コマーシャルの脚本を書くことです。登場人物が何人、どんな人がでてきて、どんな言葉をしゃべり、どんな音楽が流れているのか、その物語の構成を考える、II 登場人物がない場合は、どういう映像に、どういう音楽があつて、そこにどういう言葉を持つてくるかを考えていくのが、僕たちの仕事です。

ただ、ほかの表現の仕事と違って、どんなにアイデアが素晴らしいけれども、輝 かんばかりに個性的でも、※クライアントの了解がなければ表現としては成立しません。だから、独りよがりりに自分のアイデアを提案するというよりは、クライアントが何を必要とし、何を解決しようとしているかをつかんだ上での表現になるので、② 芸術的な主体性はあまりないといってもいいかもしれません。

クライアントの了解がとれると、今度は、たくさんの専門家と一緒にそのアイデアを豊かなものにしていく作業に入ります。

たとえば※キャッチフレーズが必要ならコピーライターが参加しますし、デザインを詰める企画ならアートディレクターが加わります。さらにそこに撮影監督や音楽や照明の担当者などたくさんの方がかわります。そしてそれをまとめる仕事としてクリエイティブディレクターという役割もあります。その人たちと濃密な一五秒や三〇秒の世界をつくっていきます。

僕は、最初からCMプランナーになろうと思っていたわけではありません。電通という大きな広告会社にはいったのも、どうしても「プランナーになりたい！」といった強い気持ちからはありませんでした。いろいろな偶然や必然が重なって、今この仕事をしているといってもいいでしょう。III CMプランナーに「コレ」といった専門性はいらないと思います。ただ、それでも多少の向き不向きは、この仕事に限らずですが、あるかもしれません。

とにかくわずかな秒数の世界ですべてを表現するしかないわけです。映像、言葉、時間を結びつけながら、与えられた要素を短い時間に凝縮し、そして※インパクトをもつて表現しなければいけないわけです。求められるのは、持久力よりA、そしてBより直感力だと思います。

それから最近になって思うのは、③ 何か一つの分野が好きという人よりは、たとえば音楽ならクラシックもきけば、歌謡曲もきく、J・POPも好き、みたいに幅が広いタイプのほうが向いているという気がします。というのも、クラシックしかきかない、好きじゃないという人はどの広告もバックの音楽はクラシックになってしまう傾向が強いんです。絵画でも、※キュービズムが好きな人は、そういう傾向になりがちです。だから、映画にしる、音楽にしる、本にしる、いろいろ見るし、聞くし、

読むしといったタイプのほうがいいと思います。

更にいうならば、ありきたりだけれど「**④ 想像力**」です。僕は一〇歳の子どもにも、六五歳の女性にもなれるという自負があります。もちろん現実にということではありませんが、それぐらい強気でないと思われたいです。クライアントが広告したいと思ってる商品は、必ずしも自分の身近にあるもの、好きなものとは限らないわけです。身近にないからつくれないではプロにはなれないのです。

IV、僕はお酒を飲まないけれど、ビールのCMもつくりますし、さつき六五歳の女性の話をしましたが、その世代の女性を**※**ターゲットにした化粧品けしょうひんのCMも担当しています。現実の生活では、まったく経験のない世界の商品CMをどうつくっていくか。僕は、商品のターゲットである人たちに実際に話をきくなどして、その商品の周囲にいる人の気持ちに思いをめぐらせていきます。その商品と、使う人の関係を考え抜くと言いますか。。

そのときにかつて映画で見たものや、本で読んだもの、お芝居しばいで見たものが、まるで自分が体験したことのように思い出して、アイデアを考える自分にさまざまな作用を及ぼしてくることが多々あります。さきほど幅広く見る、聞く、読むほうがいいといったのは、そのためでもあります。そうしてそういった作業をていねいに積み重ねていくうちに、今回のCMには、こんなストーリーがいいんじゃないかと、一つの物語ができていきます。

もちろん僕のいうやり方がすべてではないけれども、「想像する力」は表現する仕事には絶対あったほうがいいし、大切にしてほしいものです。

(中略)

制約がある表現ではあるけれども、広告をつくることを二五年間ずっと仕事にしてみました。広告は僕にとって、世界と自分を結んでくれるものにとらえています。本当は、自分が一番好きなものはスポーツだったので、それで世界と自分をつなげていくことを夢みていたときもありましたが、営業の仕事といっしょでうまくいきませんでした。

⑤ 制約があることは、しかし僕にとつては、あまり問題ではありません。たぶん、そういう意味では、純粋な芸術家や作家ではないのでしよう。広告は、常に企業が消費者とのコミュニケーション上の課題を解決するためにあるものです。たとえば「知られていない」とか「もう一つ愛されていない」「興味をもたれていない」等です。制約があるなかでそれらをどう解決するかには知恵を絞るしぼほうが自分にはあっていると思っっています。制約がなかったら、逆に何もつくれないかもしれません。

CMをつくる際に、僕の場合は、「ひと」にこだわっています。これまで制作してきたCMをみてもえればわかると思うのですが、**※**リアルで平凡な「ひと」がでる物語が圧倒的に多いのです。それはどうしてなのか自分でもはっきりしないのですが、商品のそばには必ず「ひと」の気持ちがあるとどこかで思っているからかもしれません。人間を描くことで、CMをみた人が自分の気持ちを引き寄せやすいとか。そこはこれからもこだわっていききたいと考えています。

そうやってこだわって自信をもってつくっても、実際※オンエアのときは、ドキドキします。だから電車の中で偶然高校生たちが話題にしてくれたりすると、すっごく嬉うれしくなります。**⑥** つくった側としては、商品が動くのももちろんですが、話題にされることも非常に大きな喜びです。

話題にされる、ほめられるみたいなことが、つくるエネルギー
ーになつていたりします。

(岡康道 『孤独は絶好のトレーニング』 一部改変)

※(文中のことばの意味)

ウェブ上 : ここでは、インターネット上のこと。

クライアント : 広告代理店にCMの制作を依頼した客。

キャッチフレーズ : 人をひきつける、短い文句。

インパクト : 衝撃。印象。

キュービズム : 物体を三角形や四角形などの規則的な図

形を用いて表現しようとする手法。ピカソ

などが代表的。

ターゲット : 商品を売りこむ相手。目標。

リアル : 現実的。

オンエア : 放送すること。

問1 I Ⅳ にあてはまることばとして、最もふさわ

しいものを次の中から一つずつ選び、それぞれ記号で答え
なさい。

ア たとえば イ また ウ でも エ だから

問2 線①「CMプランナーの仕事」とは、どのような

ものです。それを説明している部分を文中から四十字以
内でぬき出し、はじめと終わりの五字をそれぞれ答えな
さい。句読点なども字数に数えます。

問3 線②「芸術的な主体性はあまりない」とあります

が、どういうことですか。最もふさわしいものを次の中
から一つ選び、記号で答えなさい。

ア クライアントの求めるものを作らなければならないので、
自分らしさだけを押し通すことはできないということ。

イ クライアントの要望ばかりを聞くのではなく、个性的な
アイデアを提案しなければならぬということ。

ウ クライアントから个性的なアイデアを引き出せるように、
あまり自分からは提案するべきではないということ。

エ クライアントに反対されないように、自分らしさを全て
押し殺したものを作らなければならないということ。

問 4

A・**B**

しいものを次の中から一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

A

ア 瞬発力
イ 影響力
ウ 強制力
エ 親和力

B

ア 巨大さ
イ 便利さ
ウ 慎重さ
エ 上品さ

問 5

——線③「何か一つの分野が好きという人よりは、たとえば音楽ならクラシックもきけば、歌謡曲もきく、J-POPも好き、みたいに幅が広いタイプのほうが向いている」という気がします」とありますが、なぜですか。最もふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 何でも知っている人のほうが、クライアントとの信頼関係を築きやすいから。

イ かたよった知識しか持っていないと、広告を作成するのに必要以上に時間がかかるから。

ウ さまざまなものに興味を持っているほうが、広告に自分らしさを反映させやすいから。

エ 自分が見たり聞いたりしたことのあるものが、アイデアを考える時に役立つことが多いから。

問 6

——線④「想像力」とありますが、CMプランナーである筆者にとって、それはどのようなことをする力ですか。文中のことばを使って、五十字以内で答えなさい。句読点なども字数に数えます。

問 7

——線⑤「制約があることは、しかし僕にとっては、あまり問題ではありません」とありますが、なぜですか。最もふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア どのようにして商品を消費者に受け入れてもらうのかを、自分一人では決められないから。

イ 企業と消費者の間にある課題を、どのように解決していくかを考えるほうが向いているから。

ウ 企業と消費者に受け入れてもらえる、よりよいCMを作るためには、こだわりが必要だから。

エ 企業からどんな難題を示されても、それに対応できるくらいの実力は持っているから。

問 8

——線⑥「つくった側としては、商品が動くのももちろんですが、話題にされることも非常に大きな喜びです」とありますが、なぜですか。それを説明した次の文の□にあてはまることばを、文中から十四字でぬき出さない。

「」と考えているから。

問 9 本文の内容に合うものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 筆者は、なんとなくCMプランナーになってしまったので、この仕事に必要な専門性は特になく、だれでもすぐできる仕事だと考えている。

イ 筆者は、クライアントの要望という制約がある中でも、商品にかかわる人の気持ちを大切にしながらCMを作るようにしている。

ウ CMはプランナー一人の力でできるものではなく、たくさんの方と協力して作り上げるので、プランナーにはコミュニケーション能力が求められる。

エ 筆者が二五年間もCMプランナーの仕事をしてこられたのは、商品にかかわる人の思いがあったからで、みんなの夢を実現するには強い意志が必要だ。

問題は次のページにつづきます。

□ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

わたしの血液型はB型です。

星座は、わかりません。

生まれた日も、生まれた場所も、わかりません。

父も母も、わかりません。

わたしは、ゼロ歳から、※養護施設・愛信園で育ちました。

わかつているのは、それだけです。

だから、ほんとの名前もわからないんです。名前なんて、つ

いていなかったのかも知れません。

① かんじんなことは、何一つわかりません。

だれも教えてくれないけど、いじわるしているわけじゃなく

て、みんなもわからないんだということに、やっと気が付き始

めました。

赤の他人なのに、優しい先生たちと、ぜんぜん血もつながっ

てないたくさんの兄弟姉妹たちと一緒に、育ちました。

だれにも、① そんなこと、知られたくなかったし、振り返る

のはウザイから、へ生い立ちの記)なんてぜんぜんやる気なか

ったんだけど、ゴールデンウィークは※太極拳の練習も休みだ

し、遊びに来てくれるような人もいないし、行くところも帰る

ところもなく、もちろんおこづかいゼロ。おたがいにうっ

とうしい気分になって、いじめたり、いじめられたりが、よく

起こるんです。

わたしも、時々やってしまいます。連休一日目に、小さい子

をいじめてしまいました。いじめのあとは、自己※嫌悪がひど

くなるんです。だるくて死にそうだったから、ひまつぶしにへ生

い立ちの記)の宿題をすることにしました。

「わたしが初めて二本足で立った日」を調べるために、わたしを赤ちゃんの時からずっと育ててくれた佐久間先生に話を聞きたいと思いました。

先生は、わたしが五歳の時に体調を崩して退職されて、もうここにはいません。すごくお世話になったのに、わたしは、もう顔も忘れていました。

だけど、「わたしが初めて二本足で立った日」のことを憶えている人は、佐久間先生だけです。

わたしは、いてもたってもいられない気持ちになって、園長先生に相談しました。すると、あっさりOKしてくれました。

電車賃の他に、おこづかいもくれました。② いつもの癖で、顔

や態度には出せませんですけど、ほんとに嬉しかったです。

五月五日。わたしはたった一人で、※房総半島の海辺の町の

老人ホームに出掛けました。

「お年と病気で退職されたんだから、凜ちゃんのこと、もうわ

からないかも知れないよ。それでも訪ねてみるというなら、覚悟

はしててね」

行く前に園長先生にしつこく言われていたからか、③ すごく

ドキドキしていました。

電車を三回も乗り換えて、バスに乗って、三時間もかかりま

した。バス停からさらに山道を三十分くらいも歩きました。疲

れきってへたばりそうだったけど、愛信園でうだうだしてるし

かないみんなのことを思って、バチがあたるなーと頑張りまし

た。

(旅はいいなー、このまま、世界中を放浪して歩こうかなー)

そんなことを④ とりとめもなく考えながら A 歩くのは、

けっこう楽しかったです。

そして、やつと、潮のにおいのする老人ホームに着きました。ゴールデンウィークなのに、ぜんぜん訪問者もなくて、ひっそりとしていました。④ わたしたちの愛信園と同じです。強い風の音と波の音が響き合って、とても寂しい感じでした。肌寒い日だったのに、佐久間先生は、※ 介護士のお姉さんと一緒に、車椅子で、※ ポーチまで出て待っていてくれました。髪も真っ白で、すっかりしわくちゃになってたけど、わたしは写真で思い出していたから、すぐにわかりました。

「佐久間先生、わたし、烏丸凜です」
ぺこんとおじぎをしました。

すると、佐久間先生はわたしの背の高さにびっくりしたらしくて、立とうとしてもがいて、だけど立てなくて、わたしがしやがんでカステラのおみやげをあげたら、口をBさせて、急に泣き出しました。

「よう来た、よう来ておくれた。大きゆうなった。大きゆうなった」

三十分くらいもの間、何度も何度も同じことを繰り返して、C 泣くんです。カンペキ赤の他人なのに、十年も前のことをちゃんと憶えていてくれて、本気で泣いてくれてるんです。

「わたしが、初めて、二本足で立った日のこと、憶えていますか？」
⑤ わたしも、胸がつまって、しばらくしてから切れ切れに聞いたら、

「憶えとるさー」
と、わたしの頭を撫でて、笑いました。

「心配になるくらい立たなくてねー、二歳になってから、やっとなつたんだよー。その頃は、けっこうぶっくらしてねー、

D の短いあんよで、※ お相撲のしきりみたいに四つんばいになって、それから、よっこらしよと立った。立った、立った！と、わたしは大騒ぎしてるのに、あんたは、立ったまま、一歩も歩かんでさー、部屋の中をぐるりと見回して、うーむ、つまらん世の中だなーとでもいうように、ふわーと欠伸を一つして、コテンと眠ってしまったのさー」

しわだらけの口で、ふわふわ笑いました。
「赤ちゃんが、そんなこと思うわけないと思いますけど」

わたしも一緒に笑いながら、ちよつと甘えたように言ってみました。

「おお、そうよなー。赤ちゃんが、そんなこと、思うわけないよねー。ごめんねー。しっかり生きとるあんたに、つまらん冗談言うてしもーたー」

また泣き始めました。

介護士のお姉さんが、黙って優しく背中を撫でてあげていました。

先生は体力が弱っているらしくて、二時間くらいの面会時間の半分は泣いていて、ちよつとしか話を聞けなかったんだけど、会えてよかったです。すごく疲れたけど、訪ねて行ってよかったです。

ほんとは、退屈でしようがなくて、園からとにかく飛び出たくて、ひまつぶしてみたいに始めた「生い立ちの記」の取材旅行だったんだけど、⑥ わたしの十二年をぜんぶ取り戻せたような気持ちになりました。

「ありがとうございます。バイバイ」

わたしはにこにこしてあっさり帰って来たんだけど、ずーつと佐久間先生の部屋にいて、何か手伝ってあげたいような気持ちになっていました。

(でも、人間で、最後は、みんな、ひとりぼっちなのかな……) 嬉しくて興奮しているのに、別のわたしは、すごく寂しい気持ちになっていたんです。

佐久間先生に話を聞かせてもらっている間は、そうでもなかったのに、一人で山道を下り始めたら、⑦涙が噴き出してきて止まらなくなりました。

「泣かない子」で有名だったのに、自分でもびつくりです。寂しいだけじゃなくて、どうして、みんな、一緒に暮らせないのかとか、怒りのような気持ちもありました。家族って、なんだろう? とか、なるべく考えないようにしていることをまた考えてしまって、わけのわからない思いが溢れて、噴き出してきたのだと思います。

〈生い立ちの記〉というのは、ほんとに不思議です。いろんな思いが溢れてきます。書きたくないのに書きたいとか、知りたくないのに知りたいたいとか、正反対の思いが激しく⑧せめぎ合っています。こうして思い付くまま乱暴に書いたものでも、ぜつたいだれにも読まれたくないという思いと、だれかに読んでもらいたいという思いが、ぶつかり合ったりからまり合ったりしています。

力いっぱい大泣きしたり、マジで介護士になりたいとか、そんな自分を見つけたことも、嬉しいです。だから、頑張って書き上げたいです。いろんな自分を、もっともっと見つけられそうな気がしています。

だけど、くじけそうな気がします。力のかぎり、やってみます。

⑧自分のために書くんだけど、でも、やっぱり、だれか、真っ直ぐ読んでくれる人がいて欲しい!

(後藤竜二 『12歳たちの伝説』 一部改変)

※(文中のことばの意味)

養護施設 …… さまざまな事情をかかえる子どもを保護し、

生活させるところ。

太極拳 …… 中国の拳法の一つ。

嫌悪 …… きらって、いやがること。

房総半島 …… 千葉県の半島。

介護士 …… 自立できない高齢者や病人の介抱や看護をする人。

ポーチ …… 洋風建築の玄関口。ひさし・小屋根が出ている。

お相撲のしきり …… 力士が土俵の上で両手をおろして、身がまえること。

問1 〜〜線①〜③のことばについて、文中における意味として最もふさわしいものを次の中から一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

① かんじんな

ア かんたんな イ ささいな
ウ たいせつな エ あいまいな

② とりとめもなく

ア まとまりなく イ まちがいなく
ウ どうしようもなく エ 手ごたえなく

③ せめぎ合って

ア ぴったりとそろって イ ゆずり合って
ウ たがいに協力して エ 対立して争って

問2 〜〜線①「そんなこと」とありますが、その内容としてふさわしくないものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 血液型がB型であること。
イ 生まれた日も場所もわからないこと。
ウ 養護施設・愛信園で育ったこと。
エ 血のつながりもない人たちと一緒に育ったこと。

問3 〜〜線②「いつもの癖」とありますが、どのようなことですか。文中の言葉を使って十五字程度で答えなさい。句読点なども字数に数えます。

問4 〜〜線③「すぐくドキドキしていました」とありますが、このときの「わたし」はどのような気持ちですか。最もふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 佐久間先生と久しぶりに再会することへの緊張と、佐久間先生に憶えてもらっているかという心配。
イ 佐久間先生の病状がよくないことへのとまどいと、少しでも佐久間先生の力になりたいという希望。
ウ 休日に遠くまで旅行できることへの楽しみと、一人で出かけなければならぬことへの不安。
エ 今まで佐久間先生に会おうとしなかったことへの後悔と、ようやく佐久間先生に会えることへの期待。

問5 A〜Dにあてはまることばとして、最もふさわしいものを次の中から一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア ぶよぶよ イ ぼくぼく
ウ もごもご エ ボロボロ

問 6

——線④「わたしたちの愛信園と同じです」とありますが、どのようなところが「同じ」のですか。最もふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 周囲に人の気配がなく、静かで落ち着いているところ。

イ 他に行くところがなくて、しばらく感じている感じがするところ。

ウ 潮のにおいがし、風と波の音が響き合って、寂しい感じのするところ。

エ 休日にもかかわらず、訪ねてくる人がほとんどいないところ。

問 7

——線⑤「わたしも、胸がつまって」とありますが、なぜですか。四十五字以内で答えなさい。句読点なども字数に数えます。

問 8

——線⑥「わたしの十二年をぜんぶ取り戻せたような気持ちになりました」とありますが、どういうことですか。最もふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア だれもくわしいことを教えてくれなかった自分の生い立ちについて、よく知っている人から話を聞くことができ、すべてがわかったということ。

イ 今まで自分の生い立ちについてほとんど知らなかったが、成長の過程を少しだけでも知ってくれている人がいることに救われ、満足したということ。

ウ まったくやる気のなかった〈生い立ちの記〉の宿題だったが、やり始めてみると意外と十二年間の人生を書くのは難しくなかったということ。

エ 自分の幼い頃をよく知る人に会えたことで、忘れていたことを思い出し、十二年間の人生をじっくり振り返ることができたということ。

問9

——線⑦「涙が噴き出してきて止まらなくなりました」とありますが、なぜですか。最もふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア これまでだれにも聞くことができなかった幼い頃の自分について、佐久間先生に教えてもらったことが嬉しくて仕方なかったから。

イ 自分の親代わりのような存在である佐久間先生を老人ホームに残して、一人で帰らなければならないことがつらくて、寂しくなったから。

ウ 老人ホームでひとりぼっちで暮らしている佐久間先生の姿に自分の状況を重ね合わせ、家族と一緒に暮らせないことをもどかしく感じたから。

エ せっかく佐久間先生と再会できたのに、病弱な様子を見ているともう会えないのではないかと思ひ、あっさり帰ってしまったことを後悔したから。

問10

——線⑧「自分のために書くんだけど、でも、やっぱり、だれか、真っ直ぐ読んでくれる人がいて欲しい！」とありますが、ここにはどのような気持ちがかめられていますか。最もふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 成長した自分の姿を親に見てほしいという気持ち。

イ 自分の新たな一面を教えてほしいという気持ち。

ウ 自分と向き合えるように応援してほしいという気持ち。

エ ありのままの自分を受け止めてほしいという気持ち。

問11

「わたし」の人物像を説明したものとして、最もふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 両親がいなかったために自信がなく、他人に思ったことをはっきりと伝えられない人物。

イ 感情を表に出すのは苦手だが、自分の中にある感情ときちんと向き合うことのできる人物。

ウ 明るく礼儀正しいので人当たりがよく、素直に自分の感情をさらけ出せる人物。

エ だれに対しても思いやりを持って接し、困っている人がいたらすぐに手を差しのべる人物。

三 次の□に同じ漢字をあてはめて、それぞれ四字熟語を完成させなさい。

例 □問□答 答え：一

- ① □人□色
- ② □発□中
- ③ □信□疑
- ④ □画□賛
- ⑤ □種□様

四 次の――線のカタカナは漢字に直し、漢字は読みを答えなさい。

- ① 提出期限をノばす。
- ② 四月から会社にツトめる。
- ③ 新しい企画をケントウする。
- ④ ケイサツシヨに行く。
- ⑤ テンランカイに出品する。
- ⑥ 精密な細工を試みる。
- ⑦ 強い口調で訴える。
- ⑧ お年寄りを敬う。
- ⑨ 矢を射る。
- ⑩ 相手の意図を理解する。

これで問題は終わります。